

安全データシート

改訂日: 2020年11月12日

1. 製品及び会社情報

製品名

塩化ナトリウム溶液

会社名

米山薬品工業株式会社

住所

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

電話番号

(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
ad3008S

整理番号

別表1. 当SDSの適用品名一覧
20w/v%塩化ナトリウム溶液
1mol/L(1N)塩化ナトリウム溶液
5%塩化ナトリウム溶液
50g/L塩化ナトリウム溶液
30g/L塩化ナトリウム溶液
0.1mol/L(N/10)塩化ナトリウム溶液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

* 全ての項目において「分類対象外」, 「分類できない」または「区分外」。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

金属などは酸化を促進させる。

食塩水であり、眼や傷口に接触すると刺激を感じる。

3. 組成、成分情報

化学品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

塩化ナトリウム水溶液

慣用名又は別名

食塩水

化学式

NaCl

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS RN: 7647-14-5

濃度又は濃度範囲

塩化ナトリウム水溶液 100% (①塩化ナトリウム、②水)
※各製品の含有量は、別表2. 濃度表を参照。

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

(1)-236

別表2. 濃度表

表示濃度(品名)	成分①	含有量 (重量%)	成分②	含有量 (重量%)
20w/v%塩化ナトリウム溶液	塩化ナトリウム (CAS RN: 7647-14-5)	20.00	水 (CAS RN: 7732-18-5)	残り
1mol/L(1N)塩化ナトリウム溶液		5.84		
5%塩化ナトリウム溶液		5.00		
50g/L塩化ナトリウム溶液		3.00		
30g/L塩化ナトリウム溶液		0.58		
0.1mol/L(N/10)塩化ナトリウム溶液		0.58		

4. 応急措置

吸入した場合

異常があれば医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合

眼を洗う。異常があれば医師の診断/手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

手を洗う。異常があれば医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。異常があれば医師の診断/手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

燃焼性は無い。周辺火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

該当情報なし。

特有の危険有害性

該当情報なし。

特有の消火方法

該当情報なし。

消火を行う者の保護

該当情報なし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具を必ず着用し風上から作業する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

遠方から噴霧注水を行い、排水は土砂等で安全な場所に導く。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 局所排気・全体換気	該当情報なし。 取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
安全取扱い注意事項 接触回避	あらゆる接触を避ける。
保管 技術的対策 適切な保管条件 混触危険物質 容器包装材料	直射日光を避け、涼しい場所に密封して保管する。 直射日光を避け、涼しい場所に保管する。 該当情報なし。 ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置 許容濃度 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	未設定 未設定 未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策	マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業着を着用する。 取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 臭い pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 引火点 蒸発速度 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 蒸気圧 相対ガス密度 密度及び/又は相対密度 溶解度 n-オクタノール/水分分配係数 自然発火温度 分解温度 動粘性率(粘度)	無色透明の液体 無臭 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 不燃性である。 該当情報なし。 不燃性である。 不燃性である。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 水に可溶、358g/L (20°C) 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。
10. 安定性及び反応性 安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	通常の取り扱いに於て安定。 該当情報なし。 直射日光、高温、高湿 該当情報なし。 該当情報なし。
11. 有害性情報 急性毒性	経口： LD50 (ラット) = 3000mg/kg 水溶液は、ガイダンスに従い加算式 (ATEmix=100 / ((10.7% / 350mg/kg)))により分類した。 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない) 該当情報なし。(分類できない)
皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 誤えん有害性	

12. 環境影響情報 生態影響	短期: (急性) 長期: (慢性)	該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。
残留性・分解性 生態蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層に対する有害性		
13. 廃棄上の注意 化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上 望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号 品名(国連輸送名) 国連分類 容器等級	— — — —	
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		該当法規制特定でせず。
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法		危険物に該当しない。
16. その他の情報		
参考文献		化学品安全管理データブック(化学工業日報社)
		記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。